

## 徳島大学大学院創成科学研究科の設置について

### 設置の必要性

今世紀に入り、気候変動等の地球環境問題、資源エネルギー問題、自然災害、人口問題、保健衛生問題、少子高齢化、地域間格差、経済・産業の持続的発展など地球規模のさまざまな課題が深刻化し、喫緊の対応が迫られている。これらの課題を解決するため、専門的知識・技術を軸に関連分野の幅広い知識・技術を視野に入れ、他者と協働して、科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創出し、総合的・俯瞰的な視点から現代社会の課題解決に当たる高度専門職業人（知のプロフェッショナル）の養成が急務となっている。

また、四国地域は全国に先駆けて進行している人口減少（20年先行）や高齢化に起因する過疎化の進行、それに伴う域内市場規模の縮小、事業所や労働力の減少など、現代社会の課題先進地域である。特に徳島県では、技術開発と産業化、農林水産業の6次産業化による地域活性化、さらに、地域防災力の向上、福祉・介護対策、地域文化の振興と観光化等、イノベーションの創出と、総合的な知を援用した多様で複雑な地域課題への対応が大学に強く期待されている。

地域の特性を生かした地域産業を創出し発展させるためには、文系・理系の枠を越えた複合的な観点からのアプローチが不可欠であり、こうした課題に対応する高度イノベーション人材（産業人材）の育成が求められている。

このような中、従来型の一つの専門分野の中（ほぼ縦割り型の専門教育課程）のみの学修から、他分野の知識、とりわけ人文科学・社会科学・自然科学をまたいだ分野横断的な教育を行い、文系・理系の枠を越えた俯瞰的な視点から、社会と連動した産業創成や技術イノベーションの創出、ローカル・地球規模で展開する複雑な課題の解決等に対応できる融合人材の養成が徳島大学に求められている。

### 教育研究上の目的

社会のニーズと整合性のとれた教育カリキュラムを柔軟に構築し、時代に即応した、さらには将来の産業構造や社会構造の変化を先取りした人材を継続的に社会に送り出すことを目的に、常三島3学部を基礎とした分野融合型の大学院研究科（1研究科4専攻体制）を設置し、各専攻の基盤コースを核とした専門教育を行うとともに、「研究に基づく分野横断型教育（教育クラスター）」を新たに導入することで、専門分野の枠を越えた俯瞰的な視点を有し、社会・産業界のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人を養成することを目的とする。

### 養成する人材像

本研究科では、人文・社会・人間科学分野、理工学分野、生物資源学分野を融合した教育体制の基で、研究に基づく分野融合型教育（教育クラスター）を導入した教育課程により、中長期的な産業界・社会

のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人を養成する。

## 研究科，専攻等の名称

### (1) 研究科の名称

創成科学研究科 英語名： Graduate School of Sciences and Technology for Innovation

### (2) 各専攻の名称

- ① 地域創成専攻 英語名： Division of Regional Development
- ② 臨床心理学専攻 英語名： Division of Clinical Psychology
- ③ 理工学専攻 英語名： Division of Science and Technology
- ④ 生物資源学専攻 英語名： Division of Bioresource Science

### (3) 学位の名称

- ① 地域創成専攻 「修士（学術）」（英語名： Master of Arts）
- ② 臨床心理学専攻 「修士（臨床心理学）」（英語名： Master of Clinical Psychology）
- ③ 理工学専攻 「修士（工学）」（英語名： Master of Engineering）  
「修士（理学）」（英語名： Master of Science）
- ④ 生物資源学専攻 「修士（生物資源学）」（英語名： Master of Bioresource Science）

## 教員組織の編成

本研究科の設置の趣旨に応じ、地域創成、臨床心理学、理工学及び生物資源学の4専攻を設け、教員の研究分野の専門性と各専攻の教育内容の専門性を考慮して、必要な教員を適切に配置する。

配置する教員は、いずれも各分野において優れた教育研究業績を有する者とし、教員は各専攻・コースの専門教育に従事するとともに、研究科共通科目、教育クラスター、オープン形式の特別実習・特別演習、学位論文指導等を通じて、専攻の枠を越えた分野横断教育に参画する。

また、研究科共通科目のグローバル教育科目群には、外国人教員による科目も配置し、英語運用能力の向上を図る。

### (1) 各専攻の教員組織の編成

#### ① 地域創成専攻

地域創成専攻の教員組織は、哲学、倫理学、歴史学、文学、言語学、文化人類学、民俗学、人文地理学、空間情報科学、芸術学、映像デザイン、空間デザイン等の人文科学分野、社会学、地域計画学、公共政策学、経済学、法律学、国際政治学等の社会科学分野、応用生理学、スポーツ社会学、スポーツ心理学、スポーツ医学等の人間科学分野の教員を中心に編成する。

本専攻の専任教員 38人（職位：教授17人、准教授21人）

## ② 臨床心理学専攻

臨床心理学専攻の教員組織は、本専攻に接続する学部組織である総合科学部所属教員を中心に、心の健康の回復と保持増進の領域に密接に関係する研究分野（臨床発達心理学，臨床社会心理学，臨床心理学・被害者支援，医療心理学，認知心理学，人格心理学，学習心理学，家族心理学，産業心理学）の専任教員を中心として編成する。

本専攻の専任教員 9人（職位：教授3人，准教授4人，講師2人）

## ③ 理工学専攻

理工学専攻の教員組織は、学士課程と修士課程の接続性に配慮した教育を行うため、理工学部の各コースを引き継いだ教員組織を基本として編成する。

本専攻の専任教員 174人（職位：教授79人，准教授45人，講師27人，助教23人）

## ④ 生物資源学専攻

生物資源学専攻の教員組織は、生命科学，生物工学，応用微生物学，食品化学，食品衛生学，食品加工保蔵学，栄養化学，機能食品学，食料生産・加工，健康科学，生物資源生産・育種，環境保全，農業経済・経営学等の分野で教育研究に実績を有する教員で構成する。

本専攻の専任教員 44人（職位：教授13人，准教授15人，講師7人，助教9人）

### 入学定員

創成科学研究科	375名
① 地域創成専攻	16名
② 臨床心理学専攻	12名
③ 理工学専攻	308名
④ 生物資源学専攻	39名

### 開設時期及び開設年次

令和2年4月 第1年次

# 徳島大学大学院再編構想 【常三島地区】 (1/2)

## — 教育組織の再編構想の概要 —

社会や経済情勢の変化を先取りし、地域や世界が求める人材養成に主眼を置く教育体制の導入



創成科学研究科の設置

改組（再編）前 → 改組（再編）後

平成 28 年度  
学部新設・改組

令和 2 年度  
大学院修士課程

令和 4 年度  
大学院博士課程

※ ( ) 書きは入学定員。

【大学院】

総合科学教育部  
(修士 47人, 博士 4人)  
・地域科学専攻  
・臨床心理学専攻  
(修士課程)

先端技術科学教育部  
(修士 328人, 博士 43人)  
・知的力学システム専攻  
・物質生命システム工学専攻  
・システム創成工学専攻

縦割り型の  
専門教育体制

柔軟な  
教育体制

### 創成科学研究科

- ・地域創成専攻 (16人)
- ・臨床心理学専攻 (12人)
- ・理工学専攻 (308人)
- ・生物資源学専攻 (39人)  
(修士 375人)

・創成科学専攻 (仮称)  
(博士 50人)

【学部】

総合科学部  
・人間文化学科  
・社会創生学科  
・総合理数学科

工学部  
・建設工学科  
・機械工学科  
・化学応用工学科  
・生物工学科  
・電気電子工学科  
・知能情報工学科  
・光応用工学科

総合科学部  
・社会総合科学科

理工学部  
・理工学科

生物資源産業学部  
・生物資源産業学科

理工学、生物資源学、  
人文・社会・人間科学の融合

### 大学院を令和 2 年度に設置する理由

- 地球温暖化、エネルギー問題、過疎・高齢化等、多様な課題を解決するため、新たなイノベーションを創出し、総合的・俯瞰的な視点から課題解決に当たる高度人材の養成が急務。  
①社会・産業界・地域のニーズに対応できる柔軟な教育体制の構築  
②分野を越えた融合教育の導入
- 徳島県から、技術開発と産業化等による地域活性化等の多様で複雑な地域課題への対応が強く期待されている。
- 平成28年度に総合科学部、理工学部、生物資源産業学部を設置したことから、これら3学部を基礎とした大学院を設置し、間断なく高度人材を養成。
- 生物資源学分野は従来にない新たな学問分野であり、大学院の設置は必須。理工学分野では、学部からの接続性に配慮した教育の実施に大学院の設置は必須。

# 徳島大学大学院再編構想 【常三島地区】 (2/2)

## 創成科学研究科

— 入口から出口まで + 知の循環 —

養成する人材像

中長期的な産業界・社会のニーズをふまえ、最新の基盤技術・基幹技術・先端技術を理解し、グローバルな視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成できる高度専門職業人を養成。

